

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
国公立対策講習	2	3年 1類 (A・B・C型)	
授業担当者	教科書名		副教材等
****	国語：漢文句法・演習ドリル他 英語：共通テスト問題集		国語：高校生の古典文法等 英語：単語帳等

科目の到達目標
国語：共通テストの過去問題や入試過去問題の演習を重ねて学力の充実を図り、入試問題を解く力を高める。
英語：共通テストにおいて6割以上の正答率を得るため、予想問題に慣れながら会話や長文の英語を速く読むこと、正確に聞くことができるようになるのが目標である。

評価の観点と方法について
国語・英語の出席状況と積極的な授業参加、および課題や小テストへの取り組みなどをもとに、総合的に評価する。

	月	学習単元・項目		
			ねらい	方法・活動
一 学 期	4	1学期 ・問題演習 ・共通テスト問題演習	国語 ・基礎・基本を固め、入試に対応できる力を養う。 ・解答時間を意識して、問題に取り組む。	国語 現代文 ・速読をして要旨（文章の大枠）をつかむ。 ・語彙を増やし、漢字の知識を深める。 古典 ・古文単語や古典文法など基礎を繰り返し確認する。 漢文 ・句法などの基礎を確認する。 ※適宜、小テストの実施、課題等を課す。
	5			
	6		英語 ・易しい問題を多くこなしながら解くスピードを上げ、共通テストレベルの問題に挑戦する。解説をもとに知識を積み上げ、復習で理解を深める。	英語 ・共通テストの予想問題を使い、時間を区切って問題を解く。問題の解説や解き方を聞き、今後の学習の仕方や復習の仕方を考える。
	7	夏期講習		

	月	学習単元・項目	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	2学期 ・入試過去問題集 ・共通テスト予想問題	国語 ・入試過去問題やセンターの過去問題の演習を重ねて、学力の充実を図る。 ・解答時間を意識し、その感覚を身につける。	国語 ・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を作成する力を身につける。 ・マークシート形式や記述式などに慣れ、対応できるよう取り組む。
	10	・共通テスト直前対策	・共通テストに向けての総仕上げをする。	・評論・小説・古文・漢文の四問を各二十分のめやすで解けるようにする。
	11		英語 ・共通テスト本番の感覚を身に付ける。	英語 ・共通テストの予想問題を数コマの授業時間内で本番のように解く。
	12	冬期講習		
三 学 期	1	共通テスト		
	2			
	3			
<p>その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）</p> <p>国語：昨年度より使用している古文・漢文のテキストは適宜活用し、必要であれば持参してください。</p> <p>英語：演習と復習はセットで行うことによって大きな成長に繋がります。 復習用ノートを一冊用意し、知識と経験を可視化して蓄積していただきます。</p>				

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
進学講習 (数学 IA)	2	3年・I類・A, B, C型	
授業担当者	教科書名	副教材等	
****	なし	改訂版 リンク数学演習 approach + basic	

科目の到達目標
・基礎～標準の問題演習で、数学 IA の総復習及び授業の演習を行う。まずは、定義や定理、公式などの基本的な事項もしっかりと確認する。
さらに、代表的な標準問題を理解し、解法やテクニックを身に付ける。最終的には医療系のレベル入試問題が十分に解けるようになることを目標とする。

評価の観点と方法について
「関心・意欲・態度」「数学的な見方や考え方」「表現・処理」「意識・理解」の4つの観点に基づいて、平素の学習意欲や学習態度を重要視して、基本的な知識の理解度、技能の習熟度、思考力、表現力を、課題プリント、レポート、小テスト 等で評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	数学 IA の問題演習 数と式	公式や定理などの基本事項の確認。 演習問題が解けるようになる。	リンク数学演習の b 問題を用いて演習問題に取り組む。	予習、復習を行っているか。
	5	集合と命題 2次関数			
	6	図形と計量 データ分析			
	7	場合の数と確率 図形の性質 整数の性質			
二学期	9	数学 IA の問題演習	実践問題が解けるようになる。	実践問題を用いて演習をする。 医療系専門学校の過去問演習をする。	予習、復習を行っているか。
	10	数 B 演習	受験が終わった生徒が増えると思われるので基礎学力者を対象に授業の補習を行う。 定期考査対策を行う。	その他	授業で学習した問題が、身につけているか。 問題を解く力がついているか。
	11				
	12				
三学期	1	個別試験対策・授業演習 (学年末考査)	低学力者対象の学力補充	個別試験問題演習	

その他 (履修上の留意点・大学等進学のための学習など)
毎回の授業では、予習してあることを前提とし、問題の解説を進めていく。授業を聞いているだけでは計算力、実力は絶対につかない。やらされる勉強ではなく、自ら自発的・積極的に数多くの問題を解くことによって、入試に対応できる力がついてくる。見せかけの勉強は必要ない。
質問は歓迎する。自分の目標を定め、それに向かって努力して、確実に実力をつけてもらいたい。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語進学講習	2	3年I類A・B・C型	
授業担当者	教科書名		副教材等
****	赤本 大学の過去問等		ユメタン1

ねらい
入試に向けての語彙力強化。
実際の入試問題の演習を通して多様な問題形式にふれ、それぞれの形式に必要な対策を知る。
英語資格試験対策講習では、英語検定やTOEICなどの過去問・演習問題を用いて試験対策を行う。

出席状況、授業中の取り組み方、提出課題の内容等を総合的に評価する。
単語の小テストの理解度も評価に入るので、しっかり取り組んでもらいたい。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
1 学期	4	私立大学の問題演習	多様な問題形式を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・単語発音練習 ・過去問を用いた問題演習 	(a) 授業中の活動・発表 (b) 課題の提出 (c) 小テストなど
	5		問題演習の結果から自分の実力を把握して、強化すべきポイントを明確にする。		
	6				
	7				
2 学期	9	私立大学の問題演習	多様な問題形式を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・単語発音練習 ・過去問を用いた問題演習 	(a) 授業中の活動・発表 (b) 課題の提出 (c) 小テストなど
	10		問題演習の結果から自分の実力を把握して、強化すべきポイントを明確にする。		
	11		英語資格試験の問題演習		
	12				

3 学期	1	英語資格試験の 問題演習	多様な問題形式 を知る。 問題演習の結果 から自分の実力 を把握して、強化 すべきポイント を明確にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・単語発音練習 ・過去問を用いた問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> (a) 授業中の 活動・発表 (b) 課題の提出 (c) 小テスト など
---------	---	-----------------	---	---	--

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

この講習では、入試に向けた語彙力強化や、過去の入試問題を用いた演習を行います。毎時間の復習は各自で取り組まなければならないため、受講する場合は授業以外の学習時間を確保してください。

そして、「毎日こつこつ」が英語学習の基本です。小さなちりも積もれば山になっていくと信じて、一緒に楽しく英語学習に取り組みましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
基礎講習 英語	2	3年1類 A(・B・C)型	
授業担当者	教科書名	副教材等	
****	英文法・語法問題600	Vision Quest Ultimate	

<p>科目の到達目標</p> <p>基本的に授業の内容に近いことで授業よりも易しめのテキストを使い1・2年生で学んだ文法の復習を文法・語法の体系に沿って学ぶ。授業でA型とB・C型では使用しているテキストは異なっているが、基本的にはA型の生徒のテキストに合わせて進む。ただし、講習で取り扱う内容は、基本的な内容なのでB・C型の生徒でも基本の復習には絶対に必要な内容である。また2学期からはA型の生徒で1学期に考査の成績が悪い生徒に対しての指名者講習に変わるので、授業の復習をして考査成績を上げることを目標とする。</p>

<p>評価の観点と方法について</p> <p>小テスト+授業態度等で総合的に判断する</p>
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	第1章	時制	現在・過去・未来とそれぞれの進行形や現在完了・過去完了・未来完了を使い分けることができる。	積極的に例題を理解し演習問題に取り組んでいるか。 取組んだ問題をペアワーク等で理解し、覚えようとしているか
		第2章	受動態	様々な形の受動態を理解できる。	
		第3章	助動詞	様々な助動詞を理解できる。また助動詞+have+過去分詞を正しく理解できる。	
	5	第4章	仮定法	仮定法過去・仮定法過去完了・未来に関する仮定を理解し、if節の省略や代用も見抜くことができる	
		中間考査			
	6	第5章	不定詞	基本的な準動詞の働きを理解して、さらに受動態の不定詞や動名詞、完了形の不定詞や動名詞、分詞構文や不定詞・分詞・動名詞の慣用表現を正しく理解できる。	
		第6章	分詞		
		第7章	動名詞		
	7	第8章	準動詞		
		期末考査			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	第9章	動詞の語法	自動詞と他動詞や紛らわしいものを理解できる。	積極的に例題を理解し演習問題に取り組んでいるか。 取組んだ問題をペアワーク等で理解し、覚えようとしているか
		第10章	動詞のイディオム	様々な動詞を含むイディオムを覚える。	
	10	第11章	関係詞	関係代名詞・関係副詞・複合関係詞を理解して使うことができる。	
		第12章	比較	原級・比較級・最上級とそれを含む重要表現を理解できる。	
		中間考査			
	11	第13章	疑問文	間接疑問・付加疑問の慣用的な疑問文を理解できる。	
		第14章	否定・強調・倒置・省略	全否定と部分否定や強調構文や倒置表現を理解し見抜ける。	
	12	第15章	名詞の語法	不可算名詞を理解する。また名詞中心のイディオム覚える。	
		第16章	代名詞の語法	it と one の用法や形式主語と形式目的語など様々な代名詞を理解する。	
三 学 期	1	第17章	主語と動詞	単数扱いするものと複数扱いするものなど紛らわしい主語を理解し見極めることができる	積極的に例題を理解し演習問題に取り組んでいるか。 取組んだ問題をペアワーク等で理解し、覚えようとしているか
		第18章	前置詞とイディオム	さまざまな種類の前置詞を理解し、前置詞を含むイディオムを覚える。	
	2	学年末考査			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

1学期は基本的な文法の復習をする。2学期からは指名者講習として授業の復習をする。

4択問題が多いので、単に答えの番号を覚えるのではなく、問題を解くヒントはどこにありなぜその答えになるのかを考えるようにする。そうすることで同じような問題が出たときに答えを導き出せるようになる。またわからないときは、1年時に購入した参考書を見直して理解を深めること。